

# せんたくぐんま

多野藤岡の未来を選ぶ、洗い直す

夏号

2024

シリーズ「政治の語り場」特別座談会  
金沢みつたか×19歳の目線 そう遠くない未来の話をしてしよう



LOOK TOWARD FUTURE

ふるさとの未来を見つける

「消滅可能性」がいわれてますが、

藤岡が好きですか？

ドキュメント県議会議員

金沢みつたかさんと商店街を歩いてみたら…

ドキュメント県議会議員

金沢みつたかさんと商店街を歩いてみたら…



座談会を前に、語り手の皆さんを誘って中央通り商店街とその周辺をぶらぶらしました。人が歩いていない。お店の人の気配もない。さびしい声がしばらく続きましたが、やがて見えてきたようです。19歳の目にも、ふるさとの良さやにぎわいといったものがしっかり見えていました。



19歳が思い描くにぎわって何ですか。「まちぶら」しながら聞いかけました。藤岡らしさについて一緒に考えたいと思っていました。



電線を地中に埋める「無電柱化」が進んだ中央通り商店街。人気のカフェがあったらいいのに。買いたい物が見当たらない。最初は、こんな声ばかりが聞かれました。



この店、知ってる。藤岡土産といえば、ここだよ。そうそう、お饅頭がおいしいんだよ。このまちに暮らしているからこそ知っている地元の味。19歳は少しずつ、まちの魅力や良さに気づいたようです。



こんにちは。店主さんが気軽に声をかけてくれます。店先でしばしおしゃべりを楽しみました。地域の、こういう感じがいいですね。これからも大事にしたい、いつまでも残したい。今度、魚を買いに来よう。まちを歩いて気づいた、19歳のにぎわいです。

消滅可能性都市 県「快疎」目指す

国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに20～30代の女性の数「若年女性人口」の減少率を分析。国や自治体に対策が急務だと警鐘を鳴らしました。県はゆとりがあり、人をひきつける暮らし「快疎」を掲げて、人口減少対策を進めています。

金沢みつたかプロフィール

1977年7月10日藤岡市西平井生まれ。藤岡市立平井小、西中、県立富岡高校卒。大東文化大学法学部政治学科卒業。明治大学公共政策大学院中退。さいたま市長政務秘書、衆議院議員秘書を経て、2019年4月群馬県議会議員初当選。現在、2期目。



**藤岡が好きですか？**  
**齊藤** 藤岡の人が好き。金沢さんのお手伝いを始めてから、その思いが一層強くなりました。声を掛けてくださる人が街に増えるのが楽しくて、人のつながりが感じられてうれしいです。  
 卒業後も学び続けて、やりたいことを見つけたつもりですが、これからも藤岡に住み続けたいです。  
**西澤** その感じ、よく分かる。地元で和太鼓をやっています。太鼓には楽譜がなく、演奏を聞き、たたく動作を見て口唱和で覚える。人とかかわることで腕が上がります。人のつながりは数値化できないけれど、積み重ねることによって宝物になると思う。  
 祖父や父の時代から深めてきた人や地域のつながりが、私の世代にとっても暮らしやすさや安心といったものを支えていると感じます。うざったいってこともあるんですけど。

**小山** 言語化するのがうまいなあ。私の地元にも挨拶したり、気軽に声を掛けたりする関係が残っています。それでも、うざったいと感じるほど深くはないかな。私にとっては、ほとんどのちやうどいい距離感で、人の温かいつながりを感じています。  
 この先就職しても、実家から通いたいと思っています。知り合いが多くて安心ですし、親がいてくれるので楽だからというの、実は本音です。  
**金沢** 今は、SNSで世界中の人と一瞬でつながれて、その関係を簡単に断つこともできます。一方、リアルな人のつながりには、複雑な人間関係を巧みにこなす煩わしさがあります。  
 都市部では地域や人のつながりの希薄さがかわっています。私は、人間関係の煩わしさが、理由の一つだと考えています。ところが、皆さんはそれを含めて、人のつながりが藤岡の財産だと感じている。本当に心強い。まっすぐに生かしたい大切な目線です。

**藤岡らしさって何だろう？**  
**西澤** 商店街を歩くと、人の姿がなくて「過疎ってる」感じでした。歩いている人はもちろん、お店は営業しているから店員さんはいらっしゃるのかもしれませんが、気配を感じませんでした。  
**金沢** 人の気配から街を見る、面白い目線ですね。では、皆さんにお聞きします。にぎわいとは何ですか？  
**齊藤** 例えば、誰でもよく知るチェーン店があればまっと人が集まって、にぎわうと思います。ただ、子ども食堂や鬼石マルシェなどを知ると、にぎわいについて考える別の目線があることに気づ

きます。  
 世代の違い。抱えている事情。国や人種の違い。私は、様々な人たちが集う場が地域にあることがにぎわいだと思えるようになりたい。  
**小山** 行ってみたいお店がある、買いたい物がたくさんあるといったことに憧れがあります。ただ、にぎわいは大勢が集まってガヤガヤしていることではないとも思えます。  
 お店の人とお客さんが交わす声や、様々な世代の人の声が聞こえること。いろいろな言葉が街中を行き交うことが、私が考えるにぎわいです。  
**西澤** 実は、社会人になって足を向ける店の幅が広がりました。「若いのによく来たねえ」などと、お店の人から声を掛けられることがあって意外に楽しくて面白い。思えば、にぎわいはコミュニケーションのあり方。その場に集う様々な人との対話や交流といったことの楽しさだと思います。  
**金沢** にぎわいの再生は、全国の自治体が抱える重要課題です。ただ、様々な捉え方や考え方があって、時代に合った持続可能なまちづくりを選択する時期にあると、私は考えています。政治や行政は今まで以上に、様々な世代の皆さんと向き合って真剣に議論し、進むべき道を決断しなければならぬと思っています。

**35歳のあなたを語ろう**  
**金沢** 2040年代、日本の高齢者人口がピークを迎える一方で、労働の担い手となる現役世代は急減。公共施設やインフラの老朽化なども重要な課題になるといわれています。  
 16年後、皆さんは35歳です。どんな自分を想像しますか？  
**小山** 歯科衛生士になって、ベテランといわれていると思います。結婚や出産までは想像できませんが、今の地域域のつながりが残っていて暮らしやすい環境であってほしいです。  
**齊藤** 望む職業に就いて、一人前に生活できていれほしいかな。60歳を過ぎた両親と一緒に実家で暮らしているかも知れません。藤岡が今よりも高齢者や子どもに優しい街になっていることを期待しています。  
**西澤** 仕事では管理職になる年齢。結婚していたら、家族の将来のために社畜のように働いているかも。年金や人口減少などの問題を考えると、バラ色の未来を想像するのは難しいです。だから、政治や行政に大いに期待しています。藤岡の強みを生かして企業誘致や観光振興などを進め、市外の人から「選ばれるまち」を目指してほしいと思います。  
**金沢** 人口を増やすことをまちづくりの目的にすべきてないというのが、私の基本的な考えです。これからの政治や行政は、市民の幸せや希望といった目には見えないものに向き合い、実現するのが役割だと思っています。そのためには市民に寄り添い、丁寧に議論を重ねることが大切です。皆さんの意見はとても勉強になりました。ありがとうございました。  
**小山** 貴重な体験になりました。ありがとうございました。ご一緒しました。  
**齊藤** 同世代と議論できて勉強になりました。ありがとうございました。  
**西澤** 金沢さんと商店街を歩き、街の人と言葉をお交わす姿を見て、地域に根ざす政治を知った気がします。これからもよろしくお願ひします。



特別座談会

## 金沢みつたか × 19歳の目線



**西澤海杜さん (19歳)**  
 製業会社勤務。  
 「長男だから家督を継ぐ」という人生を思い描くしっかり者。  
 地元で伝わる和太鼓の担い手の一人。



**齊藤真尋さん (19歳)**  
 政治に関心を持つ短大生。  
 やりたいことを探して金沢みつたか事務所を手伝いつつ、大学編入を目指している。



**小山侘嬉さん (19歳)**  
 歯科衛生士を目指す専門学校生。  
 「藤岡が好き」は「実家暮らしは楽だからの裏返し」と本音をぼろり。

シリーズ「政治の語り場」

## そう遠くない未来の話をしよう

有識者でつくる人口戦略会議は、2050年までの30年間に全国の市町村のうち4割超に当たる744自治体が「消滅する可能性がある」との報告書を公表しました。県内で指摘されたのは20の市町村で、藤岡市、上野村、神流町も含まれています。藤岡が大好きという19歳の若者と、県議会議員の金沢みつたかさんが語り合いました。過疎ってる、だけど、19歳の目に、現在の藤岡はどう映っているのでしょうか。そして、いつまでも住み続けたいと思う理由は？19歳の目線で、まちの魅力や良さを聞きました。16年後の2040年、そう遠くない未来のお話です。